

フレーベル會に對する希望

(フレーベル會總會に於ける演説)

奈良女子高等師範學校長 野 尻 精 一

私はフレーベル會即ち本會の創立以來、或は評議員やら或は客員やらなか／＼責任のあり名譽もある位置においていたゞいたのでありますが何の御役にも立たないで誠にに相すまぬ事と思ふて居ります。

此度は恰度上京中に總會がひらかれるといふ事でありましたから拜聴かたゞ／＼出席いたしました次第で御座います、お話しといふほどの事もありませんが、本會について感じました事を一二申上げて置たいと思ます。

フレーベル會といふのは以前に女子高等師範附屬幼稚園内にあつた幼児保育法の研究を目的とした會と、其頃東京市内にあつた之と類似の二つの會との合併したものであります。大體同じやうな

性質の會が三つ別々にあるのは不便であるから、協同して研究しやうじやないかと云ふ事で一所になつたのであります。私も其頃多少關係して居ましたが、さて此合併の會を何と名づけやうかと云ふ事について大分議論がありました。三つの會のいづれを取つても他の二つに義理がわるいといふ事からいつそフレーベル會と命名したのであります。之れは幼稚園の發達に盡力せられたフレーベルに敬意を拂ふつもりから思ひついたものと覺えて居りますが、今日こゝに出ますについて思ひついた事は、今日は此名を改められてはどうかといふ事であります。如何となれば本會は今日に於ては單に子供と幼稚園との關係を研究するばかりでない、廣く幼児について研究して其發達をはかる

やうになつて居るのであるから今少しひろい意味の名を付けられては如何かと思ひましたのです。

それから本會は皆さんの御盡力によりまして或は有益なる雜誌をば發行になり、或は履々講演を開かれたり、また夏季休暇を利用して保姆の爲めに講習を開かれなどして、益々發展を遂げてまゐりまして、創立の際から關係をもつて居りました私は誠に満足に喜ばしく思ひ居る次第で御座います。がなほ將來は幼稚園についてのみならず家庭に於ける保育法についても十分に研究せられて家庭に於てかういふ事の注意が必要であるとか、どの方面に氣をつけないければならぬとか云ふやうな事を實際に行はれるやうに親切に指導しておもらひしたいと存じます、今一つ考へました事は幼児について來る附添人に幼児保育に必要な智識を與へると云ふやうな事、また上流の家庭にはいる家庭教師の爲めに講習といふやうなものを設けられては如何といふやうな事で御座います。

下層社會の幼児教育も決して等閑に附すべからざる大問題で御座います。幸ひ二葉幼稚園などで此の貧兒の爲めに大に盡力せられて居て、誠に感謝すべきことで御座いますが、一つや二つでは決して十分でありませんから、どうか今後かういふ性質の保育所が續々設立せられるやうに、御盡力いたされたいものと、切に御願ひいたしておきます。

それから幼稚園と小學校の關係につきましても此頃議論があるやうであります、その中幼稚園は非常に自由であつて小學校で俄に規律が嚴重になるといふやうな點について、幼稚園でも大きな子供には相當の規律を守らせるやうにして、小學校との懸隔があまり甚だしくならぬやうにするがよくはないかといふ説も大分あるやうに御座います。幼稚園に於ても幼兒の機能の發達と共に讀書算術位は教へてはどうかといふやうな事、また小學校が簡易に過ぎて子供があつけないやうな事な

いかといふやうな事もいはれて居ります。それで研究の爲めの場合によつては幼稚園出身の一學級を組織して進歩の出來たものはさせて見るのも一つの試験になりはせぬかと考へられます。とりとめもなくさまざまの事を申上りましたが萬

幼稚園教育雜感

(フレーザー會總會に於ける演説)

東京音樂學校々長 湯原元一

題しました通り私は雜感を申上げて見たいと思ひます。

我が國の幼稚園教育はよほど進んで居るので御座います。此事は日本で自稱して居るのみならず歐米の各國に於てもすでに之を認めて居るので御座います。

しかし、更に幼稚園の任務及び將來の運命といふやうな事について一考して見ると、まだなかなか大問題が残つて居るやうに思はれます。

一將來御研究の御參考にもならば後に爲と存じます。

終にも一つ希望いたしたいのは、全國幼稚園關係者合同の一つの會合を持つて互に相琢磨いたしたい事で御座います。(筆記、文責在編者)

なるほど幼稚園はたしかに結構なもの、自分たちの子供も幼稚園の御蔭を蒙つてよほど成績がよいのでありますが、さて此結果のよい幼稚園教育をどの範圍まで擴めてゆくか、どうせよいものならば小學校の如く公費を以てあらゆる方面に擴張して、いづれの家庭に於ても其幼児を入園させる事にしてはどうであらうかと考へると、之には大分問題があるので御座います。まづ經濟問題がさきに立つて來ます。今日の小學校の義務教育だけ